

「安倍改憲 NO！ 3000万署名」を積みあげ、 市民と野党の共同で平和憲法を守りましょう

2月24日に行われた辺野古新基地建設・埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票では、「埋め立て反対」が72%に及び、沖縄県民の強い意志を全国・全世界に示しました。しかし安倍政権は、この結果を真摯に受けとめる姿勢はまったく示さず、強引に工事をすすめようとしています。これが民主主義の国かと、全国から大きな怒りの声が上がっています。

政府統計の不正をはじめ、隠ぺい・改ざん・疑惑など、安倍政権の墮落ぶりはとどまるところを知りません。一方ではトランプ米大統領の言われるままに戦闘機や武器の“爆買い”と軍事費増大、そして「戦争ができる国」に向けての9条「改憲」に執念を燃やしています。

4月の統一地方選挙、7月の参議院選挙では、広範な市民と野党の共同の力で横暴な安倍政権を終わらせ、憲法をしっかりと守って、平和と民主主義が尊重され、子どもにやさしい社会をつくりましょう。

そのためにも3000万署名をいっそうひろげましょう。九条の会は2月22日、「安倍改憲 NO！ の3000万署名を達成し、5月3日に全国津々浦々で総決起を！」のアピールを発して呼びかけました。（裏面に掲載）



集会記録集 ができました

昨年12月8日（土）に東京・明治大学で開催しました「憲法と子育て・教育を考えるつどい」の記録集ができましたのでお送りします。

会場の明治大学の黒田兼一先生が、「人権と平和を探求する明治大学」を朝日新聞の1面広告で発信したこと、法政大学総長のメッセージを支持する「自由な学問と知的活力のある大学へ」の声明を明治大学学長・全学部長の連名で発したことなどを紹介され、参加者は大変勇気づけられました。リレートークでは、様々な分野から、子どもや保育所・学校などが抱えている困難、若者の貧困や就労の厳しい実態などが報告され、シンポジウムではこうした社会を変えていくために、市民が連携してねばり強いとりくみが各地で行われていることが話しあわれました。

憲法を守りぬき、子育てと教育に生かしていきましょう カンパのご協力をお願いします！

12月8日の全国交流集会は皆様のご支援をいただき、成功させることができました。ありがとうございました。安倍「改憲」の動きをはねかえし、憲法を守り抜いて子育てと教育に生かしていくために、今後ともどうぞご支援をよろしくお願いいたします。何かと経済的な負担がかさむ折からまことに恐縮でございますが、カンパをどうぞよろしくお願い申し上げます。

郵便振替【口座番号】00170-0-616245、【加入者名】教育子育て九条の会